

IFTA UPDATE

国際テクニカル・アナリスト連盟会員のための情報誌

会員の皆様への会長レポート

IFTA 会員の皆様へ

IFTA 年次大会で皆様にお会いできることを楽しみにしております。年次大会などの行事は、世界中のテクニカルアナリストが一堂に会し、意見を交換する大変よい機会です。今年の大会はボスニア・ヘルツェゴビナの首都、サラエボで開催されます。サラエボはその歴史が1450年代にさかのぼる古い街です。現在、サラエボは文化的経済的発展の中心地となり、そこで2011年のIFTA年次大会を開催することにより、こうした発展をさらに支援できると期待しております。IFTAは今回の年次大会を組織し、スピーカーを手配して下さったボスニア・ヘルツェゴビナ協会(SMS)に感謝します。年次大会の詳細については本号の後半をご覧ください。

年次大会に先立ち連盟の年次総会を開催いたします。年次総会に関する全詳細を含む通知が、IFTA 渉外担当者にもまもなく送付されます。年次総会では、IFTA 理事会が連盟の活動について会員に報告します。また、各会員協会からの報告および、協会発展のための戦略に関する意見交換の機会が設けられます。議題には IFTA 改定副定款の承認が含まれます。ATAA(オーストラリア)会長であるロバート・グリッグ氏の尽力により、この重要なガバナンス文書はまもなく完成されます。各会員協会から意見が提供され、多くの熟慮された修正および更新がなされました。

年次総会の議題には、IFTA 理事会の新理事の選出もあります。来年度、IFTA 理事会にとっての重要な課題は、テクニカル分析の検定試験と資格認定です。このため、我々は今年、テクニカル分析の指導と試験運営における実績を持つ方の立候補を切望します。理事選出の全詳細については、すべての IFTA 渉外担当者に近々送付されます。個人会員でご立候補されたい方は、地元の会員協会までご連絡下さい。

IFTA 2011 年次総会

2011年9月21日(水)

16:00~18:00

ホテルヨーロツパ:ボスニア・ヘルツェゴビナ サラエボ

IFTA 個人会員の皆様には、是非、年次総会にご出席いただき、IFTA 会員協会が提供するプログラムについて聞いていただきたいと存じます。

詳細については、IFTA スタッフ (admin@ifta.org)までご連絡下さい。

2011年 第18巻 第2号 目次

会員の皆様への会長レポート	1
2011年度カレンダー	3
IFTA、アラブ首長国連邦の規制当局と 覚書を交わす	4
IFTA の CFTe II が アラビア語でも受験可能に	4
祝 MFTA の新合格者	5
祝 CFTe の新合格者	5
IFTA 会員協会ニュース	6
IFTA 会員協会	9
理事会	9
IFTA UPDATE 刊行予定	9
IFTA 理事推薦のお願い	10
IFTA 第24回年次大会の詳細	11

IFTA UPDATE の次号: 2011年9月

原稿締切: 2011年9月1日
原稿の宛先: Linda Bernetich
admin@ifta.org

『IFTA UPDATE』に掲載すれば、世界中の7,000人以上のIFTA会員にメッセージを届けることができます。詳細については、www.ifta.org/publications/newsletter をご覧ください。

IFTA UPDATE は、1986年に法人登記された非営利の職能団体、国際テクニカルアナリスト連盟(www.ifta.org)の刊行物です。

本部
International Federation of Technical Analysts
9707 Key West Avenue, Suite 100
Rockville, MD 20850, U.S.A.
Eメール: admin@ifta.org
電話: +1 240-404-6508

会長レポートのつづき

改定副定款に基づき、IFTA 理事会を縮小しつつ 2011 年年次総会において少数の新理事を選出するため、連盟のために何年間も務めた幾人かの理事が辞任の申し出をしました。教育と検定試験の分野で多大な貢献をしたアントネーラ・サバティエーニ氏は、7 年間理事職を務めた後、その職務を退きます。ピーター・ボンキティス氏は、2004～2009 年の間に財務を担当し、2002～2004 年および 2010～2011 年の間に理事を務めました。前会長であり今回の大会担当であるエレイン・クヌース氏は 9 年間理事を務めた後、退任します。IFTA の理事職はボランティアであり、要求が厳しいことしばしばです。私は彼らの努力と長年の貢献に対して感謝いたします。

IFTA 理事会は、この四半期の間、連盟の多方面における発展のために尽くしてきました。

IFTA の検定試験に関しては、CFTe II の言語選択肢として新たにアラビア語が追加されました。その結果、CFTe を 6 つの異なる言語で受験できるようになりました。また、我々は CFTe のシラバスの見直しを行い、将来、新たな要素をさらに追加する予定です。今後、検定内容に変更があった場合、受験生があらかじめ対応できるように、その情報は前もってお知らせいたします。会員協会の皆様には、シラバスの見直しに必要な翻訳作業を支援し、正確な翻訳が得られるようにご協力をお願い申し上げます。

新たな会員協会についてですが、現在、我々はチリ、スロベニア、パキスタン、チュニジア、カメルーン、そしてチェコからの申請を評価中です。IFTA ではまた、中国と中東のグループと共同して新興テクニカル分析グループや協会の支援を行っています。

アラブ首長国連邦(UAE)では、IFTA は証券・商品委員会(ESCA)と覚書を交わしました。この覚書には、現地の専門教育にテクニカル分析を組み込むために、UAE 規制当局に対して支援を提供するが示されています。また、IFTA は ESCA に対して少人数の有資格テクニカル分析トレーナーと講師の派遣をするよう依頼を受けております。ご興味のある方は、自身に関する詳細な情報と簡単な履歴書を IFTA 事務局にお送り下さい。

中国では、IFTA は国家外貨管理局および中国 FX 誌との共同により、9 月初旬に北京にてテクニカル分析セミナーを開催する予定です。本セミナーのスピーカーには、David Sneddon (クレディ・スイス)、Tom Pelc (ロイヤルバンク・オブ・スコットランド)、Riccardo Ronco (アビエイト)、John Noyce (ゴールドマン・サックス証券)、Phil Smith (トムソン・ロイター)、Rolf Wetzler (サラシン銀行)、Murray Gunn (HSBC 証券)、Tim McCullough (ロイズ)、および Robin Griffiths (カサノブ証券)など、多くの一流の TA プロフェッショナルが含まれています。本セミナーが中国の更なる重要性を増す金融業界におけるテクニカル分析の理解と活用の促進の一助となることを願っています。

IFTA のテクニカル分析プレゼンテーション、スピーカー、および資格に関するウェブ・データベースはもうすぐ完成する予定となっています。IFTA では、会員協会や個人会員からの情報提供をお待ちしております。

プレゼンテーション・データベースは、グローバルなテクニカル分析教育資料の統合ソースへの要求に対してつくられました。多くの会員協会が、過去に実施された会議や会員のプレゼンテーションや講演の優れた例を提供してくださることが期待されます。データベースはカテゴリ分けされ、将来的には、すべての IFTA 個人会員のためのグローバルなテクニカル分析教育リソースに発展することが期待されます。

スピーカー・データベースは、テクニカル分析に携わる経験豊富な各国の講師およびトレーナーを会員協会が確保するためのものです。IFTA 個人会員でデータベースへの登録を希望される方は、いずれかの IFTA 会員協会から承認を得なければなりません。登録申請はウェブサイトのリンクから送ることができます。

資格データベースは、会員協会からの情報提供により IFTA が管理します。これは雇用主が世界各国の個人のテクニカル分析における資格を検証するためのものです。このデータベースは、認定された検定メンバーによって提供された正確な情報に基づいています。ご自身の詳細情報に誤りのある場合は、ウェブサイトのリンクから IFTA 事務局までご連絡下さい。

IFTA ジャーナルの 2012 年号は 10 月に IFTA ウェブサイトに公開されます。印刷費および郵送料が高額になるため、理事会では今年の会報を印刷物の形では送付しないことにしました。ただし、部数に限りはありますが、IFTA 事務局から印刷物を入手することができます。この場合、印刷費と郵送料をご負担いただくこととなります。



アダム・ソラブ、FSTA、CFTe
IFTA 会長

IFTA 第 24 回年次大会 ポスニア・ヘルツェゴビナ | サラエボ



2011年度カレンダー

	Topic	Host	Speaker	Location	Time	Contact
July	9	Monthly Digest	STAN	TBA	1, Adegboola Street, Ikeja, Lagos, Nigeria	10:00 Stanigeria@gmail.com
	12	Monthly Meeting – Summer Party (Members Only)	STA		British Bankers Association Pinner Hall 105 – 108 Old Broad Street London, United Kingdom	info@sta-uk.org +44 (0) 20 7125 0038
	13	Utilising Time and Price for Forex and CFD Trading	STANZ	Andrew Gibbs, Strategic Capital Management	Epsom Community Centre, 200-206 Gillies Ave. Kimberley Road Auckland, NZ	19:15 president@stanz.co.nz
	14	Mastery Methods to Seize Powerful Price Breakouts	TASS	Charnexus www.charnexus.com	Singapore Chinese Chamber of Commerce & Industry (SCCCI) 47, Hill Street, Singapore	19:00- 21:00 tass@tass.org.sg
	15	Open registration: Certified Financial Technician (CFTe) Level II Examination	IFTA	NA	Varies	Varies admin@ifta.org Register through IFTA website in mid-July
	16-17	Certified Financial Technician (CFTe) Training	STAN (Members only)	A. Babalola	1, Adegboola Street, Ikeja, Lagos, Nigeria	10:00 Stanigeria@gmail.com
	17	24th IFTA Annual Conference – Early bird date	IFTA	http://conference.ifta.org/2011/speakers	Hotel Europe Vladislava Skari a 5 71000 Sarajevo, BiH +387 (0)33 580 400 http://www.hoteleurope.ba/	http://conference.ifta.org/2011/
	18	High Odds Pattern Trading in Stocks, Futures and Forex: The Power of 100% Rule Based Trading	TSAASF	Jake Bernstein	Golden Gate University 536 Mission Street, Rm. 222 San Francisco, CA	10:00- 12:00 http://www.tsaasf.org/2011-events
August	1	IFTA 24th Annual Conference Sponsorship deadline	IFTA	NA	NA	EOB Fax +1 301.990.9771 or gjan@mgmtsol.com
	7	Monthly Digest	STAN	TBA	1, Adegboola Street, Ikeja, Lagos, Nigeria	10:00 Stanigeria@gmail.com
	20-21	Certified Financial Technician (CFTe) Training	STAN (Members only)	A. Babalola	1, Adegboola Street, Ikeja, Lagos, Nigeria	10:00 Stanigeria@gmail.com
	27	Roundtable Conference	STAN	A. Adeleye	Mokland Hotel, Ikeja, Lagos, Nigeria	10:00 Stanigeria@gmail.com
September	1	IFTA Update Submission Deadline	IFTA	NA	NA	EOB admin@ifta.org
	6	Technical Analysis of Financial Markets	IFTA/ China Forex Magazine		Beijing, China (TBA)	
	13	Monthly Meeting	STA		British Bankers Association Pinner Hall 105 – 108 Old Broad Street London, United Kingdom	info@sta-uk.org +44 (0) 20 7125 0038
	22-24	24th IFTA Annual Conference	IFTA	http://conference.ifta.org/2011/speakers	Hotel Europe Vladislava Skari a 5 71000 Sarajevo, BiH +387 (0)33 580 400 http://www.hoteleurope.ba/	http://conference.ifta.org/2011/

2011 年度カレンダー

	Topic	Host	Speaker	Location	Time	Contact
October	5	Certified Financial Technician (CFTe) Level II Examination	IFTA	NA	Varies	Varies admin@ifta.org Register through IFTA website in mid-July
	11	Monthly Meeting	STA	British Bankers Association Pinner Hall 105 – 108 Old Broad Street London, United Kingdom		info@sta-uk.org +44 (0) 20 7125 0038
	28-30	ATAA Annual Conference	ATAA Jim Berg, David Chia, Donald Dony, Neil Godwin, Daryl Guppy, Justine Pollard, Dr. Hank Pruden, Gary Stone, Dr. Brett Steenbarger, Dr. Bruce Vanstone	Intercontinental Adelaide North Terrace Adelaide, 5000 Australia P +61-8-8238 2400 F +61-8-8231 1120	TBA	info@ataa.com.au +61 (0) 9667 0983
November	15	Monthly Meeting	STA	British Bankers Association Pinner Hall 105 – 108 Old Broad Street London, United Kingdom		info@sta-uk.org +44 (0) 20 7125 0038
December	1	IFTA Update Submission Deadline	IFTA	NA	EOB	admin@ifta.org
	6	Monthly Meeting	STA	British Bankers Association Pinner Hall 105 – 108 Old Broad Street London, United Kingdom		info@sta-uk.org +44 (0) 20 7125 0038

IFTA、 アラブ首長国連邦の 規制当局と覚書を交わす

IFTA は
アラブ首長国連邦証券・商品委員会 (ESCA)
と覚書を交わしましたことをご報告いたします。
覚書は、2011年5月9日、アブダビにて
IFTA 会長のアダム・ソラブと
ESCA の CEO である Abdullah Al-Turifi
との間で交わされました。



この覚書の主要な目的は、
ESCA のニーズと IFTA のリソースに対する相互理解を深めることです。
これにより、
アラブ首長国連邦における投資プロフェッショナルのテクニカル分析教育、
地元テクニカル分析協会の発展の支援、そして候補者の IFTA 検定試験への
アクセスが促進されるでしょう。

IFTA の CFTe II が アラビア語でも受験可能

次回の試験日は、
2011年10月5日です。

受験者登録は9月2日まで、
<https://www.ifta.org/register/cfte2.php>
から行ってください

祝 MFTA の新合格者

Robin Boldt, SAMT



MFTA 研究論文タイトル: トレーディング戦略のプライスチャネル・ブレイクアウト・トレーディングへの適用

Robin Boldt 氏は現在チューリッヒUBS インベスメント・バンクにてスイス・エクイティ・セールストレーダーを務めています。2002年、テクニカル分析におけるキャリアをベルリン JRC キャピタル・マネージメント社にてスタートした後、2009年までゴールドマン・サックス証券のワン・デルタ・トレーディング・チーム(フランクフルト)で務めました。

Boldt 氏は、セールストレーダーとして、エクセキューションの質を向上するためにテクニカル分析を活用するのみならず、テクニカル分析のさまざまなツールをエクイティ推奨に組み込んでいます。トレーディングやエクセキューションの質が電子的アルゴリズムによるトレーディング能力にますます依存する中、Boldt 氏はテクニカル分析こそがトレーダーや投資家に大きな強みをもたらすものであると確信しています。

Boldt 氏の関心は特にブレイクアウトにあります。Boldt 氏の論文は、プライスチャネル変動の収益性を目指しているだけでなく、中核的なトレーディング戦略にともなう他のパラメーターがトレーディングの収益性を顕著に左右することに気づかせてくれます。

Francisco Javier Muñoz Alvarez, A EAT



MFTA 研究論文タイトル: 当日の開始時と前日の終了時のトレンドが同じである証券におけるテクニカル分析の重要性。短期トレーディングで有効。

Alvarez 氏は過去10年間、インディペンデント・フィナンシャル・マーケットのテクニカルアナリストを務めてきました。この分野における新しい手法の研究を中心に行ってきました。

インターネットおよび教育とビジネスへのインターネットの活用分野において、きわめて優秀な成績で修士号と博士号を取得。eラーニングにおいては、調査研究に加え、学士号を取得。

インターネットを使った教育指導を行い、調査に深い関心をもっています。

祝 CFTe の新合格者

Hazem Youssef AbdelAzim (ESTA)
Wael Mostafa AbouSamra (ESTA)
Mahmoud Mohamed Akl (ESTA)
Muhamad Alfatih (AATI)
Ali Mousa Alzahrani (STA)
Ahmed Mohamed Ameen (ESTA)
Mohamed A. Saeed Amer (ESTA)
Michael Ausfelder (VTAD)
Robin David Boldt (SAMT)
Christian Bouvier, AFATE
Mr. Patrick Braemer (VTAD)
Markus Clemens (VTAD)
Muhamad Dandytra (STANZ)

Vijay Dutt Vemala (ATA)
Ahmed AbdelHady Eissa (ESTA)
Ahmed Bishry Elbehairy (ESTA)
Rania Hany ElMaria (ESTA)
Xosé Garrido Jara (AEAT)
Mayada Amin Hosny (ESTA)
Gihan Youssef Kamal (ESTA)
Tan Kok Keong (TASS)
Alejandro Lesaga (SAMT)
Kwan Ming Wei (TASS)
Ahmed Galal EIDin Mohamed (ESTA)
Prasad Nehete (ATA)
Kai Nöh (VTAD)
Ming-weii Phua (TASS)
Mihai Piscan (AATROM)
Vipul Ramaiya (ATA)
Emad Ahmed Rezk (ESTA)
Gaurav Sapra (ATA)
Reinhard Scholl (VTAD)
Dominic Joseph Schorle (VTAD)
Amal Wagih Tarraf (ESTA)
Cyril Thiébaud (AFATE)
Amr Mohamed Youssef (ESTA)

NTAA から世界へのメッセージ 1

私は NTAA を代表し、3月に日本の東北地方を襲った大地震と壊滅的な津波の後、多くの IFTA 会員協会や個人の皆様からいただきましたご心配、ご丁寧なお悔やみ、ご支援、および励ましのお言葉に対しまして、心よりの感謝を申し上げたいと存じます。

甚大な被害をこうむった福島などの地域では、その後も苦しい状況が続いておりますが、他のほとんどの地域では事態は大幅に収拾されてきております。日本はいま復興の段階にあり、解決しなければならない多くの問題を抱えていますが、復興へ道は一層はつきりとして見えてきております。経済は年の前半は縮小すると思われませんが、今年後半には本格的回復が始まるというのが大方のエコノミストの予想です。

以下、震災後に起こった状況を私どもの視点でまとめてみました。

日本時間 3月 11日 午後 2時 46分、日本の証券取引所での売買立会が終了する 14分前、マグニチュード 9.0 の大地震(「東北大地震」または「東日本大地震」)が東北地方を襲いました。地震は最大高さ 38.9m(128 フィート)にいたる大津波を引き起こし、津波は日本の東側太平洋沿岸の各地域に壊滅的な被害を与えました。海岸から内陸に 10km(6 マイル)も津波が入り込んだケースもあり、多くの町や村を押し流し、これにより約 24,000 人の死者および行方不明者を出しました(現時点での正式発表)。

NTAA がオフィスを構える首都東京は震源地から 373km(232 マイル)離れていましたが、強い揺れを感じました。地震直後、都内の電車は運行を停止し、大部分は翌日まで運行を再開しませんでした。都内に職場がある人々の大多数は、徒歩による帰宅か、タクシー乗り場に長い列をつくったり、時間のかかるバスに我慢強く乗るなどしなければなりません。約 20,000 の人々が立ち往生を余儀なくされ、鉄道の駅や職場で一夜を過ごしました。NTAA 理事の 1人もオフィスで一夜を過ごしました。私の場合は、オフィスから 15km(約 10 マイル)の距離にある自宅まで歩いて帰りましたが、3時間半ぐらい要しました。

東京都内の建物の被害は限定的でした。首都圏の死者数は 30 人未滿で、大規模地震としては比較的少なかったです。運行停止された電車のほとんどが(初期においては遅れやキャンセルが多くあったものの)地震翌日に運行再開しました。ライフライン(電力、ガス、水道、電話、インターネットなど)の切断被害はありませんでした。首都圏の一部の地域では、大停電を回避するための緊急対策として計画停電が実施されました(関東地域を管轄する電力会社であり、問題の起こった福島原子力発電所の所有者である東京電力の供給能力が急激に低下したため)が、2週間で終了しました。以後、首都圏の生活は、少なくとも物質的な面ではだいたい正常に戻りました。

しかし、心理的な回復には少々長い時間を要しました。計画停電が終了した後も、東北における大災害に、東京にいる者も恐怖や悲しみを覚え、東京の雰囲気も非常に沈んだ状態が続きました。テレビでは、津波が家屋や建物、車、人々などすべてを容赦なく飲み込む様子が報道され、こうした悪夢のような映像は私どもの脳裏に焼きついて離れませんでした。東京に住んでいる人々のなかには、東北出身者や家族や親戚が東北に住んでいる人々も多いです。NTAA の幹部の 1人は、今回の津波によって壊滅的な被害をこうむった東北の町の出身者で、この町では 4,000 人の死者が出ております。私の兄弟の家族も宮城県の県庁所在地である仙台に住んでいます。

福島の原子力発電所で発生した事故に関しては、日本政府はチェルノブイリ原発事故と同じレベル 7 を唐突に発表し、世界を驚かせました。しかし、福島原発の状況はチェルノブイリ事故とは大きく異なり、対比することはできません。科学者たちはそのような比較を否定しています。

放出された放射性物質は、福島はチェルノブイリの 10%です。また、放射性物質が何十キロも高く大気中に放出され、ヨーロッパの広い範囲に撒き散らされたチェルノブイリの場合と異なり、福島の場合は放射性物質の拡散は原発の周辺に限られ、その影響はおおよそ福島県内にとどまっております。チェルノブイリ原発事故との構造的な違いは以下のとおりです。チェルノブイリでは、事故の発生時、原子炉は稼働状態にあり制御不能となったのに対し、福島では地震を感知と同時に原子炉は自動停止しました。チェルノブイリでは、露出した燃料棒を保護するものが無かったのに対し、福島では燃料棒は厳重に保護されており、容器は部分的に破損したとはいえ、全体的には形状を保っています。チェルノブイリでは原子炉そのものが爆発しましたが、福島では爆発したのは原子炉炉体ではなく、水素反応による建屋の爆発でした。

国際原子力委員会(IAEA)は、「福島原発事故は、(チェルノブイリとは)まったく異なる性質の事故である。チェルノブイリとは放射能の量が違い、事故発生メカニズムも大きく異なる」と断言しています。ロスアトム(ロシア国営原子力企業)のスポークスマンは、レベル 7 は「著しい過大評価」であるとし、「一般市民や環境に対する影響から判断すれば、レベル 4 に相当... 一般市民への影響は INES(国際原子力事象評価尺度)ではレベル 4 にも届かない」と言っております。フランス放射線防護原子力安全研究所(IRSIN)も日本政府の発表に驚き、福島原発の事故はチェルノブイリと「比較できるものではない」と断言し、「福島はチェルノブイリではなく、今後もチェルノブイリのようにならないであろう」と述べています。「日本における放射能汚染の地理的範囲は、ヨーロッパのほとんどの国に影響を及ぼしたチェルノブイリとは比較にならない小さなものである。福島の場合は、風と雨のおかげで放射性物質は早く地面に落ちたため、局所的な汚染にとどまった」。

NTAA から世界へのメッセージ 2

多くの人々は、「なぜ日本政府は福島がレベル 7 に相当すると決断したか」と不思議に思うでしょう。その答えは、それはおそらく、崩壊寸前の不人気政府による「強い政治的動機に基づく決断」であったということです。

ほとんどの日本国民は福島県民に対して非常に同情的ですが、実際の問題として、この原発事故は今となっては影響は局所的な問題となっています。4月25日、日本原子力安全委員会は、現時点での放射線量は4月初めとの比較でわずか0.0001%(100万分の1)になっていると発表し、この数値はさらに低下しています。このレベルでは、原発近隣の地域を除き、影響は無視できる小さなものです。

実際、日本のほとんどの場所での大気中放射能レベルは、福島を除き、日本の基準内に収まっており、世界的な平均値を大きく下回っています。日本において人体が自然界から受ける放射線量は年間で1.4ミリシーベルトですが、これは、年間2.4ミリシーベルトとする世界的平均値より40%以上低いものです。(一方、英国の放射線防護の国家機関である英国放射線防護局(NRPB)によると、航空機搭乗員は毎年4.6ミリシーベルトの放射線にさらされています。)すなわち、福島原発の地域を除き、日本の他の地域はほぼ安全であるということです。(福島原発にもっとも近い地域には放射能汚染がありますが、福島県全体が同様に汚染されているわけではありません。福島県西部ではほとんど汚染が確認されていません。)

実際、福島原発近隣地域を除き、人々も企業も、家を失って避難所で生活している人々以外、震災前の通常の生活や活動に戻り、被災した住居、建物を修理したり、サプライチェーンを復旧したりと、以前と同じような経済活動を再開しています。

こうした状況が本当のところですので、来日したい皆様は、健康被害の心配をすることなく日本に来ていただきたいと思います。歓迎します!

日本人は震災の事実を受け入れ、それを克服しようとしています。震災の影響を直接的に受けていない私どもにとって一番の励みは、直接的に被災した人々の行動でした。耐え難い困難な状況にかかわらず、これらの人々は冷静さを保ち、避難所では不平不満を言わずに、限られた空間と設備を共有し、食料の配給に整然とした列をつくりました。略奪や破壊行為は起こりませんでした。社会的秩序が失われたことはありませんでした。被災者たちは助け合いました。私が思うには日本人は概して忍耐強いといつて間違いありません。しかし、日本の基準からしても、被災者たちの行動には高い品位がありました。

こうしたことに勇気づけられ、多くの日本人は、今の状況を克服するのにそれほど長い時間を要しないだろうと確信しています。実際、被害を受けたインフラや重要な産業施設の修復と復旧は、当初予想されたよりもずっと早く進捗しています。仙台ではほとんどのビルや住宅のためのライフラインが2~3週間以内に復旧しました。東北地方の高速道路は3月末までに修復されました。新幹線については当初の予想より2~3カ月早く、4月末までに運行を再開しました。日本の産業も力強く回復しております。もっとも深刻な影響を受けた産業の1つである自動車産業では、メーカーの生産が4月には最大60%落ち込みました。これは、部品供給している東北の工場が被災したためです。しかし、当初の予想よりずっと早く、今夏までには100%回復する予定です。今回の震災を通じ、多くの日本人は以前気づいていなかった美德、例えば規律、団結、相互扶助、献身、自己犠牲、忍耐などを再発見したように思われます。現在の困難を乗り越え、以前よりも力強い国となって戻ってくることを私たちは願っています。

私たちが認識し記憶にとどめたいのは、復興の努力の裏側で、国際社会から物心両面で多大な支援と援助を受けてきたことです。地震の5日後である3月16日までに、日本政府は116もの国および経済圏、そして28の国際組織から援助の提供を受けました。さらに、数多くの日本の組織や個人は、さまざまな形での支援を世界から受けました。NTAAもその1つです。IFTA 会員協会や個人会員の皆様から強力な支援を受けました。こうした支援や援助が私どもにとっていかに大きな助けとなり、励みになったか、そして私どもがいかに感謝しているかを言い表すことは難しいです。こうした支援や援助がなかったとしたら、日本の復興はずっと難しくなっていたでしょう。

NTAA の場合、2,100 余名いる会員のうち、26 人が東北地方に住んでいました(近隣県に住んでいる者も含めると104人)。多くの会員が被災し、中には被災程度の大きかった者もいましたが、幸運なことに命を落とした者は1人もいませんでした。

話は変わりますが、NTAA が強く推薦した吉野豊氏と宮田直彦氏が、サラエボで行なわれる今年の年次大会にスピーカーとして参加します。両氏は日本で第2位、3位にランクされるテクニカル・アナリストです。今回の大会での大きな貢献を期待しています。

この困難な時期に多大なるご支援を賜りましたこと、改めてお礼申し上げます。

本間晶

NTAA(日本テクニカルアナリスト協会)評議員
国際部長(IFTA リエゾン)

IFTA 理事

IFTA 会員協会

アルゼンチン(AAAT)	www.aaat.org.ar
オーストラリア(ATAA)	www.ataa.com.au
オーストリア(VTAO)*	www.vtao.at
ボスニア・ヘルツェゴヴィナ(SMS)	
(市場研究協会)	trzisnestudije.org
カナダ(CSTA)	www.csta.org
クロアチア(CTAA)*	
チェコ(CNATA)*	www.cnata.cz
エジプト(ESTA)	www.estaegypt.org
フランス(AFATE)	www.afate.com
ドイツ(VTAD)	www.vtad.de
インド(ATA)*	www.taindia.org
インドネシア(AATI)	
イタリア(SIAT)	www.siat.org
日本(NTAA)	www.ntaa.org.jp
クウェート(KWTAA)*	www.kwtaa.org
レバノン(LSTA)*	
ナイジェリア(STAN)*	
オランダ(DCTA)	
ニュージーランド(STANZ)	
	www.stanz.co.nz
ルーマニア(AATROM)	www.aatrom.org
ロシア(RSTA)	
サウジアラビア(SSTA)*	www.saudi-sta.org
スカンジナビア(STAF)	www.staf.nu
シンガポール(TASS)	www.tass.org.sg
南アフリカ(TASSA)	www.tassa.org.za
スペイン(AEAT)	www.aeatonline.com
スイス(SAMT)	www.samt-org.ch
(スイス・マーケットテクニシャン協会)	
英国(STA)	www.sta-uk.org
アラブ首長国連邦(MEA-MA)	
(中東・アフリカ協会)	www.mea-ma.com
米国(TSAASF)	www.tsaasf.org
(米国テクニカル証券アナリスト協会)	
米国(AAPTA)	www.aapta-us.org
(米国プロフェッショナル・テクニカル・アナリスト協会)	

* 新興協会

理事会

委員長

アダム・ソラブ、CFTe、MSTA (STA)

Eメール: Adam.Sorab@cqsm.com

副委員長 — アメリカ大陸

ティモシー・ブラッドリー (TSAASF)

Eメール: timb@dynamictradingmgt.com

副委員長 — ヨーロッパ

デーヴィッド・スネッドン (STA)

Eメール: david.sneddon@credit-suisse.com

副委員長 — アジア

大瀧太市 (NTAA)

Eメール: office@ntaa.or.jp

副委員長 — 中東・アフリカ

モハメド・アシュラフ・モファーズ、

CFTe、CETA (ESTA)

Eメール: mohamed.ashraf.esta@gmail.com

財務担当理事

マイケル・スティール (AAPTA)

Eメール: mike@steeleinvestment.com

書記

サレー・ナッセル、CMT (ESTA)

Eメール: snaser@link.net

教育担当理事(学術・シラパス)

ロルフ・ウェツァー (SAMT)

Eメール: rw@rolf-wetzer.de

認定担当理事

ロベルト・バルガス、CFTe (STA)

Eメール: roberto@vargasr.com

検定担当理事

グレゴール・パウアー、Ph.D. (VTAD)

Eメール: gregor.bauer@t-online.de

会報担当理事

レジーナ・ミーニ、CTFe (STA, ATAA)

Eメール: rjcmeari@idx.com.au

加盟・新規開拓担当理事

ダン・ヴァルス、CFTe

Eメール: ta@educofin.com

会議担当理事

エレイン・クヌース (SAMT、IFTA 前会長)

Eメール: elaine@davenportadvisors.net

一般理事

デーヴィッド・フルサージ、CFTe、MFTA (AFATE)

Eメール: dfurcajg@3rdwaveconsult.com

本間晶、CFA、CIIA、CMA、CFTe、FRM (NTAA)

Eメール: ahomma.nettai@gmail.com

ジュリアス・ケンペナール (DCTA)

Eメール: jdekenpenaer@gmail.com

ピーター・ポンティキス (STANZ)

Eメール: Peter.Pontikis@anz.com

アントネッラ・サバティエーニ (SIAT および SAMT)

Eメール: as@alum.mit.edu

スタッフ

事務局長

ベス・パリス、CAE

副事務局長、会議担当

グレース・ジャン、CAE

会員サービス・マネジャー

リンダ・バーネティック

シニア・グラフィック・マネジャー

ジョン・ベンジャミン

プロダクション・マネジャー

ペニー・ウィロックス

経理

ドーン・ローゼンフェルド

IFTA UPDATE 刊行予定

『IFTA UPDATE』は国際テクニカルアナリスト連盟が年4回刊行する電子版のニューズレターで、世界中の7,000人以上のIFTA会員に配布されています。『IFTA UPDATE』は、IFTAの会員協会や個人会員とのコミュニケーションを図るのに効率的で費用対効果に優れた手段です。

刊行予定

秋号 (広告提出締め切り2011年9月1日) 冬号 (広告提出締め切り2011年12月1日)

春号 (広告提出締め切り2012年3月1日) 夏号 (広告提出締め切り2012年6月1日)

詳細および広告掲載については、

IFTAウェブサイト <http://www.ifta.org/publications/newsletter/> をご覧ください。

IFTA 本部

International Federation of Technical Analysts

9707 Key West Avenue, Suite 100

Rockville, MD 20850 USA

電話: +1 240-404-6508 ファクス: +1 301-990-9771

Eメール: admin@ifta.org

IFTA は全世界のテクニカル分析協会の利益を推進することを目的とした国際組織です。IFTA は理事会によって管理されますが、理事会は年次総会開催時に会員協会によって選出され、通常、IFTA 年次大会において行われます。IFTA 理事会の候補者を選出するにあたり、IFTA はその使命を遂行するのに必要なマネジメントリソース、世界における地位の確立、多様性、そして知識および経験を追及します。

IFTA では現在、理事会の 2012～2014 年の任期を務める個人からの推薦をお願いしております。サラエボで開催される 2011 年年次総会において 2 名の欠員が補充されます。

候補者は IFTA の主要な委員会の委員または委員長を務め、そして／または業務の必要性に応じて委員会および理事会をサポートする意思がなければなりません。

IFTA 理事会のメンバーは無償で務めることが求められます。IFTA 理事会における業務は、重い責任と IFTA の使命を支援する真剣な献身をとまなうものであり、同時に個人的および専門的な経験が報酬として得られます。

ご興味のある方からの推薦はすべて歓迎いたします。推薦の提出期限は 2011 年 9 月 9 日です。

推薦手順は簡単です

- 1 IFTA 会員協会の正会員(会費納入者)は、推薦を受けたり、自身を推薦することができます。
- 2 推薦は IFTA 会員協会の正会員 2 名から支持されなければなりません。
- 3 候補者はできれば所属する(もしくは他の同国内の)会員協会理事会から支持を得なければなりません。
- 4 候補者は 2011 年 9 月 9 日までに以下を IFTA 本部に提出して下さい。
 - (1) 記入済み推薦書式
 - (2) 記入済み IFTA 会員協会承認書式
 - (3) 履歴書
- 5 上記推薦文書一式を下記まで e メールまたは郵送にてお送り下さい。

International Federation of Technical Analysts
 9707 Key West Avenue, Suite 100
 Rockville, Maryland 20850 USA

電話: +1 240-404-6508
 ファクス: +1 301-990-9771
 E メール: admin@ifta.org

推薦内容は 9 月前半に会員に公表されます。理事選挙は 2011 年 9 月 21 日に開催される IFTA 年次総会にて行われます。ご不明の点がある場合や推薦書式の入手を希望される場合は、IFTA 事務局 (admin@ifta.org) までご連絡下さい。

推薦書式:

IFTA 理事会

候補者氏名

会社

住所

市

州

郵便番号

国

電話

ファクス

E メール

正会員 (IFTA 会員協会名):

推薦者

本推薦の支持者 (IFTA 会員協会の正会員)。

2 名の支持者が必要です。

1)

氏名

協会

2)

氏名

協会

候補者は所属する IFTA 会員協会の承認を得なければなりません。本推薦書式には記入済み IFTA 会員協会承認書式(下記)を添えて下さい。本申請には候補者の専門家としての資格および経歴の概要を添えて下さい。

推薦期限: 2011 年 9 月 9 日

IFTA 会員協会承認書式

 (候補者氏名) _____ は、
 _____ の正会員であり、
 (IFTA 会員協会の名称)

IFTA 理事会の理事に立候補することに関し、
 協会理事会の承認を得ております。

協会責任者の署名

日付